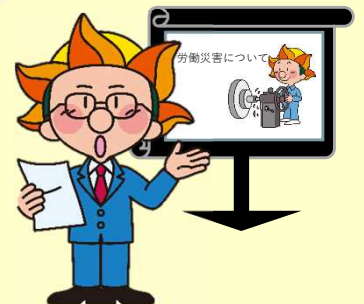


先輩職員からのメッセージ

～～現場で働く職員の声～～



ひと くらし みらいのために

はじめまして、山形労働局のイメージ
キャラクターの「ヤッピー」です。



公務員を志望する方から

「労働局の仕事はイメージしにくい」

といった声を時々耳にします。

労働局の仕事を皆さんに

「知ってもらいたい！ 伝えたい！」

と思い、山形労働局の第一線で活躍する職員5人に、ヤッピーがインタビューをしました。

インタビューした内容をご覧いただいた後に、労働局の仕事についての理解が進み、皆さんの疑問や不安が解消され、業務にやりがいや魅力を感じていただければ嬉しいです。



氏名：神 めぐみ
所属：山形労働基準監督署
第一方面監督官
採用：令和6年度



Q. 労働基準監督官を志望した理由を教えてください

A. 労働行政に強い興味があったからです。興味があると自然と知識が身についたり、記憶に残ったりするため、業務に活かせる場面が多いです。大学での専攻分野は全く違う分野だったため、労働関係の知識はありませんでしたが、1年監督官を経験して、1人で相談に乗ることができるようになりました。どんな専攻分野も十分に活かせる仕事です。

Q. 他の仕事との違いを教えてください

A. 企業と労働者の間の立場で、労働関係のトラブルを解決していくというのが、他の仕事にはあまりない特色です。監督官はどちらが悪いかを判断するというよりは、双方にどう働きかけをすればトラブルを解決できるのかを考えることが重要です。難しい場面もありますが、監督官にしかできない仕事だと感じています。

Q. 皆さんへメッセージをお願いします

A. 労働行政に興味があり、プライベートも充実させたいという方に強くおすすめしたい職業です。働き方改革を推進している省庁ですので、業務時間内にこなせないほどの業務量が与えられることはありません。月に1日以上年次有給休暇を取得できており、残業時間についても企業の手本となるよう削減が求められているため、自分の時間が確保しやすいです。

Q. 山形労働局で働いてみた印象、良かったと思うことはありますか

A. 監督官は労働者の味方になるという印象が強かったですが、実際に働いてみて、企業に行政指導を行うことで、企業の労働環境がよくなり、企業から感謝の言葉を頂くことも多いです。また、会社のことを熱心に考えていらっしゃる経営者の方のお話を聞くとカッコいいなと思うこともあり、働き方改革が推進されている会社の話を聞くととても嬉しくなります。

Q. 山形労働局で働くやりがいや魅力はどんなところですか

A. 相談対応で、ありがとうございますと毎日感謝の言葉を頂くことが、山形労働局で働くやりがいや魅力です。労働者と会社の双方から労働に関する相談を受けますが、相談しに来た方と一緒に悩みながらも良い解決方法がないかを考え、最終的には納得される方を見て、この仕事をしていて良かったと日々思っています。



氏名：黒沼 健郎
 所属：庄内労働基準監督署
 安全衛生課安全衛生係
 採用：平成31年度



**Q. 山形労働局で働くやりがいや魅力は
 どんなところですか**

A. 私が所属する安全衛生課は、労働安全衛生関係法令の適正な運用に向けた指導や、関連制度の周知を行っています。少子高齢化が進む現代では、労働者一人一人が心身ともに健康に、持続的に働き続けられる環境づくりが欠かせません。安全衛生はすべての働く人にとって重要なテーマですし、指導を通じた職場環境改善の支援にやりがいを感じています。

Q. 山形労働局で働いてみた印象、良かったと思うことはありますか

A. 他局での勤務経験を思い返してみると、労働局の職員はもちろん、応対する会社の方々も、他局に比べて比較的穏やかな人が多い印象です。周囲の先輩職員や上司は経験豊富な方が多く、いつも丁寧に教えていただいていると感じます。県外出身の方が定着することもあるので、働く環境としては魅力的なのではないでしょうか。

Q. 皆さんへメッセージをお願いします

A. 労働基準監督署は、政府の最優先政策である「働き方改革」の最前線にあり、労働基準監督官はその旗振り役として今後も需要が増していくと思います。ぜひ関心のある方は労働基準監督官を志望してください。皆さんと一緒に仕事する日を楽しみにしています。

**Q. 労働局職員に必要なスキル・資質は
 ありますか**

A. 労働基準監督官に特に必要とされるスキルは、幅広い分野への興味関心だと思っています。監督官は様々な業種の会社に行って調査や指導を行います。見慣れない仕事や機械に興味関心を持って業務に臨むことができれば、業務の飲み込みも早くなり、相手が困っていることに気づいて的確なアドバイスができるようになると思います。

Q. プライベートとの両立はできていますか

A. 年次有給休暇は積極的な取得が職場から推奨されています。祝日と組み合わせて連休を設けるなど、仕事と休息のメリハリを意識した働き方ができます。毎週水曜日と金曜日はノー残業デーとして、定時退庁が呼びかけられていますし、他行政に比べると残業も少ないので、プライベートの時間は十分に確保できる職場環境だと思います。



氏名：森谷 直人
所属：山形労働基準監督署
第二方面主任監督官
採用：平成28年度



Q. 労働基準監督官を志望した理由を教えてください

A. 安定した職に就きたいと考え、公務員を目指しました。地方自治体や他の出先機関なども考えましたが、大学で社会政策（貧困問題）を専攻していたこともあり、人々の生活に関係する労働にかかわる仕事がしたいと思い志望しました。また、労働基準監督機関ということもあり、それなりの職場環境なのかなと思ったところもありました。

Q. 労働局職員に必要なスキル・資質はありますか

A. 様々な業種が抱える諸問題に対応するため、労働基準監督官に求められる知識は多く、退職するまで勉強の日々です。また、目まぐるしく変化する世の中で、これまでの働き方の常識が変わったことも少なくありません。こうした変化に常に対応できるよう、やわらかい頭で、こだわり過ぎず、広い視点で様々な物事に興味を持つ姿勢が必要だと思います。

Q. 皆さんへメッセージをお願いします

A. 様々な経歴、専攻、業務歴の労働基準監督官がこれまでに培った経験、知識、そして自分の持ち味を活かしながら日々奮闘しています。常に労働問題の最前線に立ち、様々な業種の諸問題をリアルタイムで知ることができる仕事です。皆様と一緒に楽しく働くことができる日を心待ちにしています。

Q. 仕事で苦労したこと、辛かったことはありましたか

A. 労働基準監督官の仕事に、労使間のトラブルに向き合うものがあります。労使双方の主張を確認するも、解決の糸口が見つからず、行き詰まることも少なくありません。時には、落ち込んだり、腹が立つこともあります。こうした時は、一度考える時間を作ったり、上司に相談したりするなど、落ち着いて対応することを心掛けています。

Q. 仕事を進める上で大切にしていることはありますか

A. 複数の事案を同時に進めることがほとんどです。そのため、目の前の事案をもっと楽にできないかなと考えながら仕事を進めることを大切にしています。その中で、上司や先輩はもちろんのこと、部下や後輩に学ぶことも多くあります。決して楽で簡単な仕事ばかりではありませんが、自分なりに向き合った事案が完結した時は、それなりに達成感があります。



氏名：渡邊 悠也
所属：米沢労働基準監督署
監督課監督係長
採用：平成28年度



**Q. 山形労働局で働くやりがいや魅力は
どんなところですか**

A. 山形県内でも各地域の特色はあると思いますが、全体的には、内部外部ともに穏やかな環境で働けることです。労働者や会社の方から「相談できて安心しました」、「指導に来てもらえてよかった」などと言っていただくこともあり、県民性にも助けられながら、仕事を続けることができます。

Q. 仕事を進める上で大切にしていることはありますか

A. 公平中立な立場で物事を判断することです。時には、相手方が感情的になることもありますが、そのような時こそ、自分自身は冷静になり、しっかり相手の話に傾聴した上で、行政としての確な対応をするよう心掛けています。また、迷ったり悩んだりしたときは、抱え込みすぎず、上司に相談する等、組織的に対応しています。

Q. 皆さんへメッセージをお願いします

A. この仕事では、監督官になっていなければ、出会うことがなかったであろう様々な業種の方と接することができます。その分、一辺倒な対応が通用しないこともあります。色々な経験を通じて、自分のスタイルで労働環境の改善に貢献できるやりがいのある仕事だと思います。皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

**Q. 労働局職員に必要なスキル・資質は
ありますか**

A. 労働関係法令に関する幅広い知識を身に付け、その内容を理解してもらうための対話能力、説得力が重要になります。口数が多い必要はないと思います。言葉を選びながら、丁寧に説明するよう心掛けています。法律の知識等については、入省後の研修が充実しており、徐々に身に付くため、それほど心配はいりません。

Q. プライベートとの両立はできていますか

A. 積極的に仕事とプライベートとの両立を図っている職場のため、残業は比較的少なく、有給休暇も気兼ねなく取得できる環境です。私自身は、有給休暇を利用して、趣味の登山等に没頭し、心身をリフレッシュさせています。その他にも、夏季休暇等を計画的に取得することができ、オンオフのメリハリをしっかりと付けて働くことができます。



氏名：阿部 晃

所属：庄内労働基準監督署
署長

採用：昭和63年度



Q. 労働基準監督官を志望した理由を教えてください

A. 山形の美しい自然は大きな魅力でしたが、労働基準監督官の試験を受験した理由は山形県内出身の監督官不足でした。特に採用数が少ない理工系の監督官B区分で受験しましたので、採用されたら山形のために働けるのかなと自分の将来を想像していました。今では、労働環境の改善に少しは貢献できているような気がします。監督官人生に満足しているところです。

Q. 他の仕事との違いを教えてください

A. 他の行政機関にもそれぞれ役割がありますが、労働局や労働基準監督署は、労働相談、法令遵守指導、安全衛生の確保、労災補償などといった業務を通して、働くという分野で国民の生活に一番近いところで仕事をさせていただいている国の機関であり、労働基準監督官として採用されて以降、このことに常に誇りを感じてきたところです。

Q. 皆さんへメッセージをお願いします

A. 労働関係法令の遵守を会社に指導することは労働基準監督官の大事な職務となりますが、会社の考えに耳を傾けながらの言葉のキャッチボールは、監督官の技量が試されるところであり、やりがいを感じるところです。我こそはと意気を感じる方は是非、山形労働局において下さい。職場のみんなが温かく迎えてくれます。そして何より山形労働局では職員の心の豊かさを実感するはずですよ。

Q. 山形労働局で働いてみた印象、良かったと思うことはありますか

A. 山形労働局では、新規採用職員や他局から転入してきた職員を受け入れる体制が整備されています。特に、若手監督官に対する研修では、指導業務に対する不安を取り除くことにも重心をおいているなど、若手が育っていく上で望ましい研修環境が整っていると考えています。きっと、山形労働局で良かったと思うに違いありません。

Q. プライベートとの両立はできていますか

A. 山形労働局は組織として働き方・休み方改革を進めているため、年次有給休暇の取得や産休・育休制度の活用を積極的に進めていて、個々の予定に合わせた休暇の取得ができる職場となっています。キャンプやぼっち旅行、山交ビルでボウリングなど年次有給休暇の使い方は様々ですが、職場ではみんながリフレッシュしながら仕事で良いパフォーマンスを展開しています。



山形労働局ホームページ
QRコード

問い合わせ先

〒990-8567

山形市香澄町3-2-1 山交ビル3F

山形労働局総務部総務課人事係

担当：菅野・木村・溝越

TEL023-624-8221

